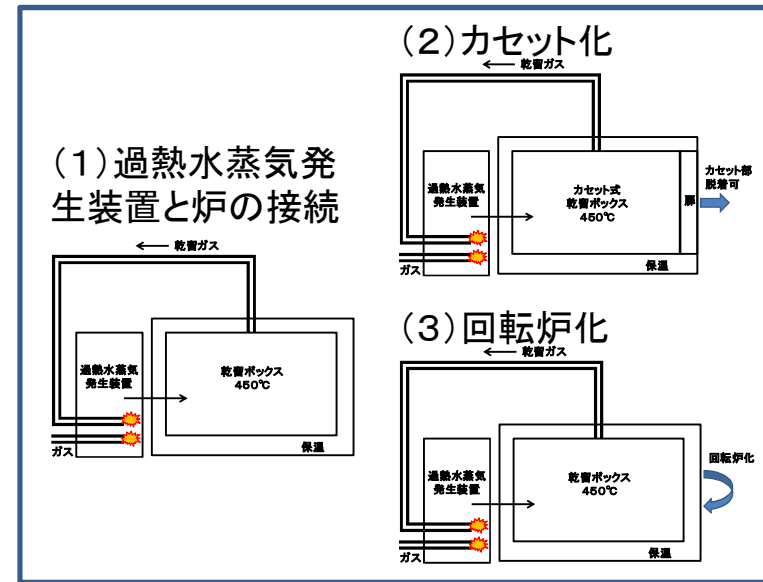


リノベーション・実証の概要

本邦で開発され、有価金属や有機物の処理の炭化処理装置として多くの実績のある炭化装置を、インドネシアにおけるアルミニウムの切粉脱脂工程(溶解の前処理)に適用するため、以下のリノベーションによる高効率化・低価格化を行いLNG使用量低減等によるCO2削減を目指す。

- (1) CYC製炭化装置の高効率を実現した過熱水蒸気利用をさらに進めるための過熱水蒸気発生装置と炉の接続
- (2) 炉の冷却のための熱ロスと稼働時間ロスを低減するための炉のカセット化
- (3) 処理を大容量化するために炉の回転炉化
- (4) 低温領域で処理を制御し使用鋼材を変更することによる低価格化



対象とする国・地域の概要



地図データ ©2015 Google

インドネシアではアルミニウム加工時に出る切粉の再利用が求められている。アルミ切粉が多く発生するジャカルタ都市圏にあるPT. Gikoko Kogyo Indonesiaの第二工場で、リノベーションと実際の切粉を用いた処理を行う。

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1: アルミ切粉処理への展開
(計画: 2020年時点で月間3,000トン処理)
- STEP2: アルミ切粉以外の処理への展開
(廃電線、塗装治具、廃棄物等)

普及の見込み

自動車・二輪車業界などはASEAN全体の成長を見ても、引き続き高い成長を示すと見られている。アルミニウムの切粉処理需要も2030年まで持続的な増加が見込まれている。